

### 予算(検討・要求)過程におけるEBPMの取組の現状

#### 令和2年度のEBPMの取組について(行革事務局方針)

- 各府省は新規予算要求事業（10億円以上）について、事業の性質上なじまないもの等を除き、原則として、ロジックモデルを作成し、レビューシートと併せて公表するものとする（**行政事業レビューとEBPMの一体的取組の推進**）。
- 各府省は、（略）事業の性質などを踏まえ、必要かつ対応可能な範囲で、府省内の予算検討・要求プロセスにおいてロジックモデルの作成・活用などEBPMの取組を積極的に行うとともに、作成したロジックモデルは、財務省主計局への説明にも積極的に活用する（**予算プロセスとEBPMの一体的取組の推進**）。

#### 当省の予算(検討・要求)過程における活用

令和3年度予算（検討・要求）過程は以下のとおりであり、説明資料としてロジックモデルを活用

- 4月以降 各局事業・予算要求内容検討（ロジックモデルの作成）
- 7月中旬 各局のロジックモデルをEBPM推進事務局で確認し、修正案を提示し調整（40事業）
- 8月上旬 各局会計課長説明においてロジックモデルを活用（31事業）
- 9月末 財務省主計局説明においてロジックモデルを活用予定（22事業）
- 12月末 予算額の正式決定（ロジックモデルに修正があれば反映）

### 予算(検討・要求)過程の課題

本年度、予算プロセスとEBPMの一体的取組を行った結果、以下のような課題が散見された。

- ✓ 予算プロセスにおけるロジックモデルの活用については、具体的な活用方法及び評価基準の明確化が必要。
- ✓ 新規予算要求事業へのロジックモデルの活用については、アクティビティの洗い出しや、ロジックの確認、リサーチデザインの設計に一定の効果がある一方で、予算要求時点では、アウトカム指標の設定までは困難なケースがある。

### EBPMの効果検証の取組における現状と予定

#### 令和2年度の効果検証の取組における現状

- ✓ 令和2年度のEBPM対象事業の中から、重点フォローアップ事業（12事業）を選定し、効果検証手法等を提示（令和4年度に向けて）
- ✓ 重点フォローアップ事業の中から、効果検証方法の精度向上を図るため、効果検証対象事業（1～3事業）を選定予定（令和4年度に効果検証を実施）
- ✓ 令和元年度のEBPM対象事業について効果検証の実施（2事業）
- ✓ 効果検証方法等に係る相談支援（よろず相談所）の実施

#### 令和4年度の効果検証の取組予定

- ✓ 令和2年度のEBPM対象事業について事業効果の検証（自己点検）
- ✓ 重点フォローアップ事業については、上記に加え、事例集を作成し、効果検証を含めた好事例を横展開
- ✓ 令和2年度の効果検証対象事業については、令和4年度の行政事業レビュー「公開プロセス」の対象事業の候補として会計課に提示（最終的に行政事業レビュー外部有識者会合で、公開プロセス対象事業を決定）
- ✓ 効果検証結果を踏まえた事業の改善

### EBPMの効果検証の取組の課題

平成30年度及び令和元年度のEBPM対象事業についてフォローアップを行った結果、以下のような課題が散見された。

- ✓ 効果検証に取り組むに当たり、人的（効果検証に対応し、結果を分析できる専門的人材）、予算的（効果検証のための調査を実施する予算、効果検証方法に関連する予算など）、時間的リソースが不足している。